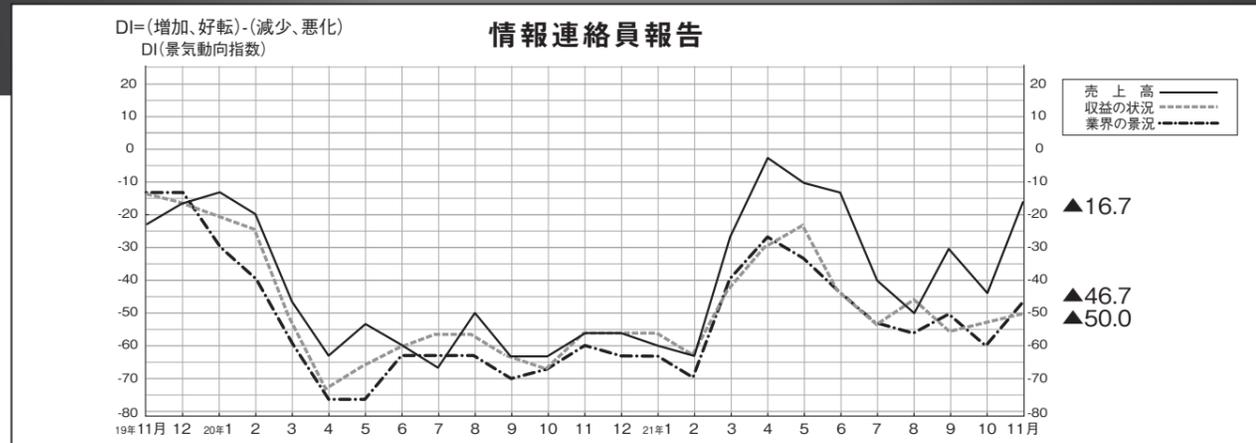


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年11月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>11月度商況は、やや好転の兆しが見受けられ、売上高は増加している企業が多いが、収益面では各社とも燃料系や食品原料系の値上がりによって、やや悪化傾向にある。中小・零細企業の食品の値上がりが予想される。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>生コン出荷量は昨年同月並みで、特に変わったことはない。</p>
<p>酒類製造</p> <p>やや増加した。首都圏からは回復の兆しが見えるが、県内の飲食街は新型コロナ前の状態回復にはまだまだの感。新たな感染という不穏な情報も気になるところ。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比79%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月以降は、増減を繰り返して、令和3年11月分は減少に転じた。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナ禍でイベント関連事業主力の事業所は、大変な状況。感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況がまだまだ続いている。</p>	<p>機械団地</p> <p>国内の新型コロナ禍は落ち着きを見せる中で売上等の指標は上向きつつあるが、原材料や燃料費の高騰は続いており、収益を圧迫している。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキともに量は1割程度増で、価格的にはスギは横ばいの状況であるが、ヒノキ柱適材については、1~1.5割程度下落。具体的に先が見通せない不安がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>昨年と比べほぼ横ばい。受注はあるものの、生産の絶対数に限度があるため、供給がおぼつかない。新型コロナの影響に関しては、少し小売関係は良くなったかもしれない。</p>
<p>製材</p> <p>原木、製品等の価格についてはやや落ち着きつつある動きもみられるが、上昇基調は継続している。</p>	<p>船舶製造</p> <p>生産活動は高い水準で推移している。新型コロナの影響は少ない。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>県内家庭紙業界は、昨年同月と比較して、11月は横ばいであったが、新型コロナ前と比較すると大きく落ち込んでいる。今後急激に回復する事は、現時点では期待できない。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>昨年の11月には開催できなかった製品大会が開催できたこともあり、前年同月比365%と、新型コロナ禍前の前々年並み(前々年同月比94%)の取引額となった。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要、県外需要共回復傾向。前年はGoTo事業等の特需も有り新型コロナ以前の数字を確保していたが、それと同等の実績。11月としてはまずまずの結果となった。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.GoToトラベルのあった昨年より動きは悪かった。 2.新型コロナ禍に加え、外国人観光客が来なくなったことが外食産業にとって影響大。 3.燃料代の上昇は経費アップとなり、赤字を膨らます要因となっている。</p>

<p>青果卸売</p> <p>新型コロナ禍からの回復は、まだ模様である。顧客が量販店中心の会社は回復傾向にあるが、業務用が多い会社は依然として厳しい状況が続いている。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>飲食店等への人の流れは少しずつだが回復中だ。それ以外の個店への流れはまだ感じられない。商店街に人が歩いていない。閉店を考えている個店もあるのが現状だ。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>マグロは高値で入荷がある。値段と折り合いがつかず仕入れができない状態。カツオは順調に入荷。小物の入荷は少なかった。新型コロナが落ち着いてきて少しずつ回復しつつある。今後は徐々に回復しそう。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>中旬頃より動きがみられるようになってきた。年末年始の宴会も小規模なものはあるが、大口はなし。まだまだ微増で、様子見状況にある。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>11月も状況は変わらず。新型コロナの感染者数も増えることなく、落ち着いているように見えるので、このまま12月には、もう少し人の流れが増えたと期待している。</p>	<p>飲食店</p> <p>引き続き食糧品が値上がり傾向、仕入価格が上昇。感染状況が沈静化し個人消費は好調だが企業や団体の動きは鈍い。業種により差は大きい業界全体としては前年度同月(既に新型コロナ禍)と同程度。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格は増産が見送られたが、新型コロナの感染再拡大や変異株オミクロンへの警戒感により若干の値下がりとなった。しかし、円安も重なり市況は不安定。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同比 89%、全旅クーポンを合わせて対比75%。感染状況は落ち着いているが、一般団体の利用は極めて低い水準である。旅行業界の前途は依然として大変厳しい状況と言わざるを得ない。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>11月度は全商品平均で前年比92%。昨年は助成金があったので好調だった。今年はその反動で厳しい。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和3年11月分の公共用生コン出荷量は、前月比106.5%、前年同月比116.5%。公共工事請負金額は前年同月比で85.6%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>高年式車両の販売が顕著に表れており、客単価も上昇している。中古車相場の高騰も続いているので、展示車両の仕入れには苦戦をしている。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比68.4%。高知中央地区の約57%減が影響。新型コロナの影響で、半導体不足による電化製品等の入荷遅れで販売および工事施工量の減少などの影響がある。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>安芸市中心商店街等振興協議会ワークショップが開催(1月までに計5回予定)された。地元高校生や行政、団体なども加わり協議が行われた。感染者数の減少と共に、徐々に人の流れが増えてきているようだ。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格は先月程ではないものの値上げとなった。組合事業は昨年度とほぼ横ばいであり、荷動きは少しずつ回復してきているが、燃料価格が高止まりしており、経費増により組合員の経営は厳しいものとなった。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比224.8% 台数:前年比97.7%。(昨年8~12月 土日祝無料サービス実施)感染者数の減少に伴い、来街者もやや増加傾向にあり、歳末商戦に期待したいところ。</p>	<p>タクシー</p> <p>歓楽街への客足が鈍い。12月から「食べタク・クーポン」、飲食とタクシーのセットで6,000円を3,000円で販売、タクシーは1,000円分が使用できる企画を高知市が支援事業として考えてくれた。</p>

五つ星の安心保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険 | 住まいの保険 | 人の保険

www.ms-ins.com